令和6年度　河野美術館、今治城及び玉川近代美術館　指定管理者モニタリング結果

施設名	河野美術館、今治城及び玉川近代美術館
所在地	今治市旭町1丁目4番地8、今治市通町3丁目1番地3、今治市玉川町大野甲86-4
指定管理者	名　称　一般財団法人　今治文化振興会 代表者　理事長　檜垣　幸人 住　所　今治市旭町1丁目4番地8
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 （問合せ先）	総合政策部　交流振興局　文化振興課 ＴＥＬ：０８９８－３６－１６０８ Ｅ－mail：bunka@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の目的である「学術文化に関する資料を収集管理して公衆の観覧に供し、併せて調査研究ならびに保存顕彰につとめ、文化芸術の振興に寄与することを目的」を達成するため、条例、規則、仕様書等に従い、適切な管理運営に努めました。	B	施設の設置目的や基本方針を踏まえ、条例・仕様書にのっとった管理運営がなされており、職員への周知や利用者への広報にも一定の取組が見られる。今後はさらなる理解浸透と利用者への効果的な発信が期待される。
利用状況	A	施設利用者については、今後も継続して情報発信や企画の充実、設備の改善に努め、利用数の増加および満足度の向上を目指します。	B	各施設とも目標値におおむね達しており、特に今治城や玉川近代美術館では利用者数が計画を大きく上回るなど好調な実績が見られた。引き続き、広報強化や魅力的な企画展の実施を通じて、更なる利用促進とサービス向上に期待する。
事業収支	A	収支については、LED化に伴う3施設修繕約574万円支出し施設の改修に努めました。公益法人会計基準を遵守し、施設毎の収支も計算し、会計事務所との協議の上経理しました。	A	収入は計画を上回り、支出もおおむね抑制されており、健全な財務運営が図られている。特にLED化等の施設改修を行いつつ、収支黒字を確保した点は評価できる。今後も施設別収支の適切な把握と、利用促進による収益向上を期待する。
管理運営体制	B	人員配置の体制は仕様書のとおりであり、勤務ローテーションも関係法令どおり遵守しています。収蔵品の管理・保存・調査研究、常設展・企画展の開催などは、専門学芸員を配置し、各種研修会等に積極的に参加しスキルアップに努めています。	B	施設ごとに適切な職員体制が構築され、学芸員や防火管理者など有資格者の配置も仕様書に準拠している。ローテーションや連携体制も適切で、業務内容の理解や接遇面においても一定の評価が得られている。研修への積極的な参加も見られ、今後は障がい者雇用への具体的取組が課題である。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	B	仕様書で定めた管理業務基準及び関連法令等を遵守する中で、適正かつ効率的な管理業務を遂行するために、管理業務の手法の確立、速やかな執行を図りました。	B	各館において、仕様書に基づき管理・運営業務がおおむね適切に実施されており、文化財の管理や清掃・警備等も一定水準を維持している。引き続き、保守点検等の更なる精度向上を図りつつ、安定的で安全な施設運営に努めることを期待する。
利用業務	B	施設利用者については、幅広い世代を対象に文化芸術に触れ合う機会を提供することができました。今後も、魅力ある常設・企画展示を開催し、宣伝効果の高い媒体を活用した情報発信を行うことによって集客力のアップにつなげます。	B	利用受付や利用者対応はおおむね適切に実施されており、利用案内や減免手続きも明確に運用されている。今治城および玉川近代美術館では目標を上回る利用実績が見られ、積極的な誘致や広報活動の成果がうかがえる。河野美術館については、引き続き利用促進に向けた取組の強化が望まれる。
その他業務	B	特に重大な事故は発生しておらず、順調に推移していますが、事故や災害等に備え研修等しています。省エネ対策、禁煙対策や個人情報に関する対応はそれぞれ職員の教育を行っており、職員の意識の醸成が図られています。今後ともこの状態を維持・向上できるよう施設の改善を図ると共に職員の教育に取り組んでいきます。	B	事故・災害等への対応体制はおおむね整備されており、訓練の実施や職員教育も行われている。省エネ・喫煙・個人情報管理等、関連法令に基づく業務もおおむね適切に実施されている。今後も意識の維持向上と体制の見直しを継続し、さらなる安全・安心な施設運営に努めることが望まれる。
修繕業務	A	施設の老朽化が進み、施設本体や機械設備の劣化が目立っていますが、来館者や職員の危険防止・安全確保に関するもの、収蔵文化財の保存管理に関するもの、快適な施設の利用環境の向上に資するものの順に、緊急性の高いものから実施するようにしています。LED化に伴う各施設の改修も当法人で実施いたしました。	A	施設の老朽化に対応し、緊急性や重要性に応じた修繕がおおむね適切に実施されており、修繕台帳や市との協議体制も整備されている。特に照明のLED化など、省エネにも資する改修が進められている点は評価できる。今後も安全性と文化財保全を両立する計画的な対応が期待される。
備品管理業務	B	修繕等で備品の耐用年数の延長を図り、経費節減に努めています。貸与車輌は日常点検・定期点検を実施するとともに、適正な運行管理に努めています。安全運転の励行については、館長が朝礼等で注意喚起を行っています。	B	備品台帳の整備や備品の管理はおおむね適切に行われており、利用者ニーズに応じた備品の新調や経費節減の取組も確認できる。今後は市との協議体制のさらなる強化や備品管理の一層の精度向上に努めることで、施設運営の安定性とサービス向上が期待される。
行政財産の目的外使用許可手続業務	B	仕様書の定めに従い管理運営収入としました。	B	自動販売機の設置について、手続きは適正に行われており、得られた収益も仕様書に基づき適切に処理されている。今治城では実績が計画を上回っており、利用者ニーズへの対応も良好といえる。今後も適正な運用と透明性の確保に努めることが望まれる。
自主事業	B	地域の学術文化の発展に寄与するため、館蔵品の名品を広く地域住民に公開すると共に、また地域で活躍している作家達の作品発表の場を提供する為の努力もしており、一定の成果を上げてきています。	A	各館において、設置目的に沿った展覧会や講演会、体験型事業などが幅広く実施され、地域文化の振興や市民への文化還元に一定の成果が見られる。収支管理や手続もおおむね適切であり、今後は事業の独自性や効果検証のさらなる工夫により、魅力ある取組の継続が期待される。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
地域団体との連携	B	「今治市河野美術館を育てる会」や地域の文化団体と連絡を密にし、地域の文化を振興し、その成果の発表の場として、積極的に連携に努めました。「今治地方観光ボランティアガイドの会」には、総合学習、校外学習の時間や遠足の機会を利用して来城する小中学生を対象に、今治市の歴史・文化に対する知識や理解、愛着を深めてもらうために、ガイドを依頼しています。また、土・日・祝日の来城者への団体旅行者への観光ガイドサービスについては、利用者から好評をいただいております。	B	各館とも、地域の文化団体や学校、行政機関と連携した取組が幅広く行われ、文化活動や教育普及、観光振興に貢献している点は評価できる。今後は、さらに連携の継続性や双方向の交流の深化を図り、地域資源の活用や市民参画を促進する取組の充実が期待される。
利用者アンケート	B	アンケート調査を形式的なものとせず、その要望に対して可能な限り対応するよう、職員の指導、展示環境の改善、施設の改修などを実施しています。接客対応や展示内容の良し悪しといったソフト部門ではおおむね高評価を得ていますが、ハード面では、施設の構造そのものや老朽化した設備に対する不満も見受けられます。これらの根本的解決方法は施設の改修であると考えており、市当局におかれては、できる限り早い段階で具体的な整備計画を立案されるよう希望します。	B	各館とも利用者アンケートを適切に実施・分析しており、満足度はおおむね高く、展示や接客への好意的な評価が多く見られる。寄せられた改善要望に対しても、可能な範囲で対応が図られている点は評価できる。引き続き、利用者目線での施設改善や魅力的なサービス提供に努めることが望まれる。
事故・苦情	B	特段の事故や苦情は発生していません。引き続き事故の未然防止に努め、事故発生の場合は、被害者の立場に立った適切な措置を行います。また、苦情についてもスタッフ一同接客対応に際し、情報の共有化を図るため発生事案について利用者からの苦情の内容等を書面にて報告するよう周知徹底しました。	B	苦情等の記録・対応体制がおおむね整備されており、接客面での丁寧な対応も一定の評価が見られる。重大な事故等の発生もなく、安全管理に留意した運営がなされている点は評価できる。今後は苦情対応の体制や公表方法の明確化を進め、より信頼性の高い運営体制の構築が期待される。
指定管理者の経営状態			指定管理者として問題なく経営が行われている。	

総　合　コ　メ　ン　ト（市）

各館において、条例や仕様書にのっとった管理運営がおおむね適切に実施されており、利用者数や収支状況においても好調な結果が見られる。
特に玉川近代美術館では利用者の増加が顕著であり、広報活動や企画展の工夫が成果につながっている。展示や接客対応についても高評価が寄せられており、アンケートや市民対応も誠実に行われている点は評価できる。
また、自主事業や地域団体との連携を通じて、市民への文化還元や地域振興にも貢献している。
今後は、障がい者雇用の推進や若年層へのアプローチ、老朽化施設への対応など、課題に対して計画的かつ柔軟に取り組むことにより、より質の高い施設運営が期待される。